

新ひだか町長

大野克之様

## JR日高線に関する議会の見解

平成30年12月20日

新ひだか町議会

## J R 日高線に関する議会の見解

平成30年12月20日

新ひだか町長 大野 克之 様

新ひだか町議会

議 長 福 嶋 尚 人

### [総 論]

J R 日高線鷓川・様似間が高波被害で不通となってから、既に4年が経過しようとしている。

この間、当該路線においては代替バスが運行されているものの、新ひだか町民をはじめ、沿線地区住民、特に自動車などの移動手段を持たない高齢者や学生などにとっては通院、通学、買い物などの日常生活の様々な場面において不便を来してきたことは言うまでもない。

こうした中、沿線自治体協議会さらには管内町長会議等において、J R 日高線のあり方等について鋭意協議が行われ、11月17日に開催された臨時町長会議において日高門別・様似間の鉄路での復旧を断念しながらも、課題解決に向けた新たな検討の段階へと進展をみたことは評価するものである。

人口減少や高齢化の進行は、公共交通機関の利用減少につながり、生活交通の維持・確保そのものへの影響が懸念される一方で、その移動手段を公共交通に頼らざるを得ない人々は今後さらに増加するものと思慮される。

本町及び日高管内の振興と発展に、これまで鉄路が担ってきた都市間移動の速達性、定時制、大量輸送、物流など、その様々な役割と影響を改めて認識されるとともに、地域住民の安全・安心な暮らしの確保と福祉の向上さらには本町及び日高管内の将来を見据え、一日も早い課題解決に向けて関係団体・機関との協議を進められるよう期待する。

### [議会としての見解]

当議会が、公開により行った各議員からの意見聴取では、鷓川・様似間の全線バス転換による早期課題解決を求める意見が大多数を占めた。

今後の沿線自治体協議会及び町長会議等の協議に臨まれるにあたり、次の点にご留意いただくよう強く要望するものである。

#### 記

1. J R 日高線に係る沿線自治体協議会並びに町長会議については、今後全ての会議を公開とされたい。

2. 今後開催される沿線自治体協議会並びに町長会議等での協議の結果等については、議会に対して説明を行い情報の共有と意見交換等を行われたい。
3. バス転換に向けた協議を進めるにあたり、運行形態、運行経路、運行本数、料金等の具体的な内容について早期に明らかにし、利便性、安全性など利用者の視点に立った協議を加速されたい。
4. 町広報誌や町ホームページ等を通じて、J R日高線の協議に関する情報を広く町民に公開し、町民の意見を反映した協議が進められるよう努められたい。
5. 高齢化が進む中、活力ある地域社会を実現していくうえで、今後さらに、公共交通の果たす役割は大きなものとなる。J R問題と並行して、地域内交通網の整備についても早急な検討を進められたい。
6. 日高線沿いの海岸では護岸崩壊に伴う越波による住家への被害や土砂流入による漁業被害も懸念されている。J R日高線の廃止によって、町民の安全と、本町の基幹産業である第一次産業の衰退を招くことのないよう護岸等の整備について早急に対応されるよう検討を進められたい。

#### [その他]

全線バス転換を求める意見が多数を占めたことは前述のとおりであるが、その他の意見について記述する。

- ・費用や利便性などの具体的な内容がわからない中では何とも言えないが、利便性が良く、負担が少ない方が良い。
- ・鉄道による復旧を断念することは、疲弊している地域をますます衰退させることにつながるものであり、全線鉄道での復旧を求める。
- ・北海道町村会として、国に支援を求めるなどしていただきたい。
- ・2つのモードのいずれを選択するかは、町長にその判断を委ねる。